

## “薬ZEROの未来”に向けた アイデアの企画と実践

グランファルマがミッションに掲げる“薬ZEROの未来”に向けたアイデアの企画と実践というテーマに対し、エンターテインメント分野で活躍した研究員がこれまでの知見を発揮し、新サービスの開発を手がけた。



### 取り組み内容

**Step 1**  
課題把握

業界や会社の現状、課題について薬剤師からヒアリング。同時にワークショップを通じてチームビルディング。

**Step 2**  
企画検討

現状と課題を踏まえ、研究員自身のスキルを生かして会社のミッションを達成するための手法を検討。

**Step 3**  
試作・テスト

Step2で企画したサービスのプロトタイプを制作すると同時に社員ら約30人でテストを実施。

**Step 4**  
改善・実装

テストの結果をもとに、今後サービスに改善を施してリリースすることで課題の解決を目指す。

### 受入企業

## グランファルマ株式会社

代表取締役兼薬局開設者

柴田 剛介 さん

1983年創業。薬に頼らない健やかな毎日の実現を目指し、「薬ZEROの未来へ。」をミッションに掲げ、その一環として、県内を中心に保険調剤薬局「あおぞら薬局」を展開する。心身を癒すソリューションとして薬局やヨガスタジオ、カフェ等が入居する複合型コミュニティ施設も運営。薬剤師の視点で選ぶ、プロ仕様のサプリメントや栄養食品なども提供する。

### 研究員

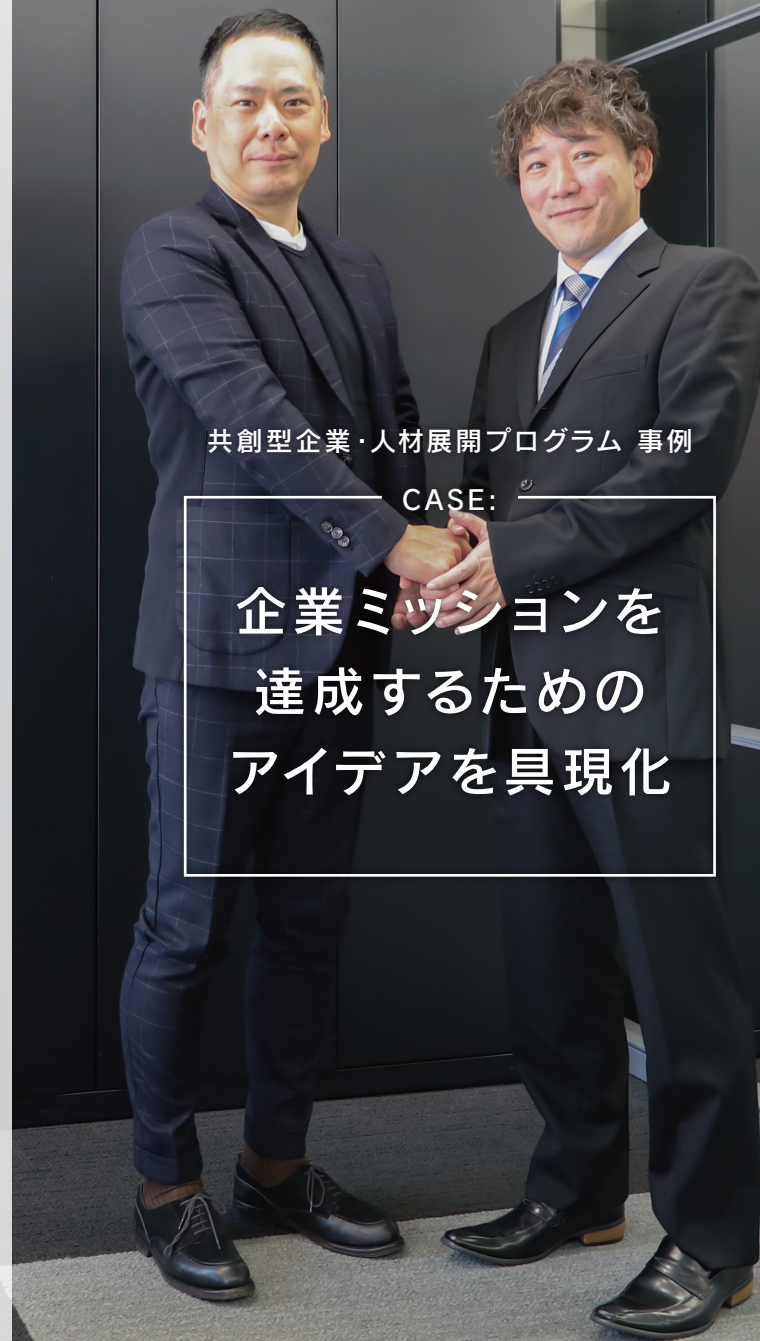
鈴木 太樹 さん

兵庫県出身。信州大学を卒業後、任天堂株式会社に入社し、19年にわたってサウンドエンジニア、プランナーとしてゲーム制作に携わる。その後、鎌倉に住まいを移し、株式会社カヤックでVR事業を手がけた。2019年にプレティア・テクノロジーズ株式会社に入社。同社独自の自己位置推定技術を使ったARエンターテインメント体験を企画、開発する。

共創型企業・人材展開プログラム 事例

CASE:

企業ミッションを  
達成するための  
アイデアを具現化



取り組みの成果  
・  
今後の取り組み

- ・会社のミッションを達成するための新サービスとして、お客様に寄り添い、健康に関する気づきを与えるAIを搭載したアバター薬剤師を企画し、プロトタイプを作成した。
- ・上記プロトタイプを社員など約30人でテストし、楽しく使い続けてもらうための改善点を探った。
- ・今後はさまざまな個性を持ったアバター薬剤師の可能性を追求開発するほか、健康について特に意識していないターゲット層へのアプローチ手法などについて検討し、実装を目指す。

企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・前年度に本プログラムを活用して研究員を受け入れ、大きな成果を得ることができました。地方の企業には各分野のエキスパートの力が必要だとあらためて感じましたし、何より自分自身にとってもよい刺激になると感じ、参加を決めました。

評価（成果・社内変化など）

- ・プロトタイプのテストによってAIを搭載したアバター薬剤師の有用性を確認できました。これをうまく活用すれば、弊社のミッションの達成に近づけるといえる確かな手応えを感じることができました。
- ・それぞれ違う分野を得意とする企業と研究員が融合して、新しい何かを生み出すための研究に取り組み、イノベーションを生み出すところに本プログラムの魅力があると思います。その意味で昨年に続き、非常に有意義な成果が得られたと感じています。
- ・固定概念にとらわれず自由に発想する鈴木さんが加わることで、当社の薬剤師の視野が広がり、思考も柔軟になった上、薬剤師の使命や新たな可能性を感じてもらいよい機会にもなりました。

今後の関わり方

- ・普段出会えないような人材と一緒に仕事ができる貴重な機会となりましたし、半年間の成果には非常に満足しています。具体的な契約内容はまだ決まっていますが、鈴木さんには引き続き、今回開発した新しいサービスの実装に向けて、尽力していただきます。

研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・自身のスキルセットを地方で活かしたいという強い思いが自分の中にありました。最初は母校である信州大学の社会人研究員を活用した地方創生プログラムに応募したのですがマッチする企業がなく、その後、姉妹プログラムである本プログラムでお声がけをいただきました。

評価（取り組み・生活）

- ・エンターテインメント分野で仕事をしてきた私がグランファルマのミッション達成に貢献するためには、どのようなアプローチをとるべきかを考え、単なるDXや既存の健康系サービスとは一線を画すサービスの企画、開発にたどり着きました。日頃、健康や体のケアに関心がない人でも、楽しみながら使い続けられるよう工夫を凝らしました。
- ・AIの活用は未経験でしたが、本プログラムを通じて、勉強し、実際に制作する機会を得られ、大きな可能性も感じるすることができました。
- ・他の研究員や大学の先生など、多くの人との出会いに大変刺激を受けました。ゼミの先生から紹介いただいたAIの専門家からは、多様な個性を持ったAIの開発についてヒントを得ることができました。

今後の展望

- ・歴史や文化が薫り、コンパクトな金沢の街を非常に気に入ったので、半年間暮らした住まいはそのまま借り続けることにしました。柴田社長からオファーもいただいていますので、引き続き開発に携わり、このサービスをぜひとも成就させたいと考えています。